

日野郡の観光オプションメニューと
泊・食のマッチング&一元的販売体制づくり事業

1. 【事業実施団体】NPO 等

日野軍★みらい創生デザイン会議（日野町）

- ・日野郡の中長期的なビジョンを構想しながら、地域づくりに関する関係者のネットワーク化を推進し、地域活性化のための新たな事業やイベントの起案・提案、及びその目的達成のための組織づくりや運営サポートを行い、もって日野郡の未来を創生することを目的とした団体。

2. 【行政】県協働担当課

西部総合事務所日野振興センター日野振興局地域振興課

- ・日野郡内の地域活性化支援を担当する部署。

3. 課題及び目的

昨今、日野郡内ではたたらの顕彰活動や歴史文化のガイド活動、オシドリやホテルなどの保護活動、ラフティングやウォーキングなど自然アクティビティ、「たたらんち」など新たなメニュー開発等、交流促進活動が格段に活発化し、観光コンテンツ・メニューが充実してきている。

しかし、観光において最も大きな消費額を占める「泊食」が伴っておらず、観光産業として成立しているとは言い難い状況であった。

そこで、日野郡内の宿泊施設と飲食施設をフル活用し、またその強化とネットワーク化を図ることにより、上述の各種観光オプションメニューと組み合わせ、関係者が協働してツアー造成や販売ができる仕組みを構築し、もって人口減少が著しい日野郡に「観光」を産業として構築することを目的とした。

4. 課題解決の手法

(1) 泊+食+オプションの情報集約、及びPR、販売システムの構築

- ・観光WEBポータルサイト「ひののひ」の制作
取材等で集めた情報を集約・整理して一覧できる、観光ポータルサイト「ひののひ」を制作。これまで散らばっていた日野郡の観光コンテンツを一元的に発信することで、当地域での滞在イメージの打ち出しが可能となった。(設置日 H30.10.6、掲載箇所数計 31 件(H31.3.31 現在))



- ・Airbnb の活用推進及び運用サポート
宿泊施設の稼働率向上及びインバウンド(外国人が訪れてくる旅行)需要に向けた対策として、宿泊予約サイト「Airbnb」の活用推進を行った。具体的には、山陰インバウンド機構との連携により、日野郡内の宿泊施設 3 件の登録代行、サポート業務を行った。(新規登録 3 件、サポート 1 件)

(2) 宿泊～飲食施設が抱えている課題の解決を促す仕組みづくり

日野郡内の宿泊施設が先細る中、各施設の様々な困りごとをサポートするチーム「お助け隊」を立ち上げ、既存施設のブラッシュアップ、稼働率の向上を目指し、リフォームやイベント企画等の支援を行い、施設オーナーの意欲向上を図った。

(3) 新たな宿泊施設、ゲストハウス等の立ち上げ支援

新規ゲストハウスの立ち上げに当たり、関係機関との折衝、WEB 上での情報発信サ

ポート、Airbnb への掲載及び運営補助、各種メディア対応等の支援を行った。

(4) 各種広報展開

- ・ **ニュースリリース及びメディア露出**

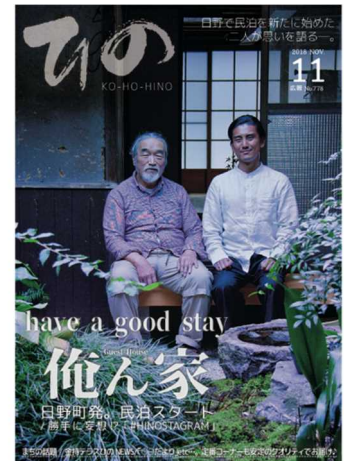
日野郡 WEB 観光ポータルサイト「ひののひ」の開設や、宿泊施設リフォームお披露目イベント、日野町根雨のゲストハウス「俺ん家」オープンなど、一連の報道によって、地域内外に本事業をひろく知っていただく機会となった。

- ・ **町役場及び各町観光協会等との連携**

日野郡 WEB 観光ポータルサイト「ひののひ」のバナーを作成し、町役場及び各町観光協会等のホームページにリンクを設置した。

- ・ **事業プロモーション**

日野郡 WEB 観光ポータルサイト「ひののひ」の PR チラシ制作ほか、SNS 広告 (Facebook) の活用及び山陰広域マップ「山陰遊悠絵図」への広告出稿を行い、複合的に事業の周知を図った。また、地域情報ポータルサイト「とっとりずむ」「鳥取マガジン」に「ひののひ」の記事掲載を行った。



(5) インバウンド需要への対応 (情報発信の多言語化)

日野郡 WEB 観光ポータルサイト「ひののひ」、PR ポスターおよび広告宣伝における多言語表記対応を推進した。

(6) モニターツアーの実施

- ・ **インバウンド向けモニターツアー**

日野郡は国際空港や港湾からアクセス良好な立地条件であり、今後の観光展開のためインバウンドは欠かせない視点であることから、海外からの訪日客を想定した 1 泊 2 日のモニターツアーを実施した。



- ・ **Airbnb 宿泊モニターキャンペーン**

宿泊予約の利便性を高めるとともに、高まるインバウンド需要に対応するため、Airbnb の活用推進キャンペーンの一環として、宿泊モニターを実施した。

- ・ **ベジタリアン勉強会の開催**

本事業で企画したインバウンド向けモニターツアーに際し、参加予定者が「ラクト・オボ・ベジタリアン」であったことから、事前に食事対応について勉強会を開催した。結果として、ベジタリアンのみならずビーガン (完全菜食主義) など様々な種類の食事についての検討にも繋がった。

5. 主な役割分担

【事業実施団体】

- ・ 各事業の窓口的な位置付け。現場に近く、パーソナルな関係性で事業者と接点を持ち、フットワークが軽い。
- ・ 具体的には建物リフォームや Airbnb の登録手続きなど、行政や観光協会が細かく対応しにくい部分をサポート。

【行政】

- ・ 官公庁の事務手続き、法務関係や調査などにおける資料収集、3 町との連携の円滑化、プレスリリースなど広報手配。

(その他)

- ・ デザイン会議と日野振興センターが一緒に動くことで、事業者の具体的なニーズ把握が行えるとともに、民泊申請などの対応が双方の得意な分野で可能となり、スピーディに実施できた。

6. 成果

- 団体と行政が一体となって事業を推進することにより、町行政のみならず、様々な地域団体や事業者との積極的な協働を生み出すことができた。また、事業推進に当たり、地域の若手メンバーの発掘と起用を進めることにより、大きな推進力につながった。
- 具体的な成果としては、
 - 日野郡 WEB 観光ポータルサイト「ひののひ」を軸にした観光情報の一元化により、当地域での滞在イメージの打ち出しに加え、郡内関係者のネットワーク強化を図ることができた。
 - 宿泊施設の軽微なリフォームをサポートすることで、専門業者に依頼して経費をかけずとも、自力で施設の魅力アップが可能なことを具現化でき、他の施設に対する好事例となった。
 - インバウンド向けモニターツアーでは、宿泊施設の設備や雰囲気についての好み、アクティビティについての指向性などを知ることができ、またベジタリアンの受入れ方法など、施設オーナーとともに今後活かせる経験を積むことができた。

7. 事業終了後の状況

- 引き続き、日野郡の観光産業の更なる振興を図るため、WEB 観光ポータルサイト「ひののひ」のコンテンツ充実とアクセス数・ページビューの増加による情報発信力強化、食や体験系メニューのマッチングによるオリジナルツアーの企画・販売（商品づくり）、また複数の宿泊施設の一元管理（フロント業務）の検討など、それぞれの取組を進化させることにより、総じて「総合産業」と言われる観光産業について、郡内3町をひとつとして地域全体の活力向上につなげていきたい。